



穂井田 ええとこ

第22号
編集及び発行
穂井田地区
社会福祉協議会

穂井田地区	
世帯数	739世帯
総人口	1,550人
65歳以上	604人
15歳未満	108人
(H30.12.31現在)	



お世話になりました

中島 一郎

7月に発生した豪雨災害に對しましては、現地でのボランティア、またボランティアセンターでの運営、協力、そして小学校体育館での避難者の為の炊き出し、不足物資の支援、と多くの方にご協力を頂き、本当にお世話になりました。ボランティア精神が多くの人に根付いたと思います。避難所での印象では、ペット達もわりとおとなしく、人間同様被災したんだなと感じました。

満百歳のお祝い

グリーンピア瀬戸内に入所されている井上三太郎さんが平成30年12月6日に満百歳を迎えられました。誠におめでとございます。地区社協ではお祝いの言葉と記念品を添えてお届けしました。

井上さんは、NHKのご自慢に何回か出られたそうで、歌好きであり、ウォーキングもされていたとのこと。健康に留意され、ますますのご長寿をお祈りいたします。

満100歳
おめでとうございます



自ら考える防災「自助」の重要性

倉敷市消防団玉島方面隊女性部 部長
倉敷市災害ボランティアコーディネーター連絡会 玉島支部所属
防災士 村井 佐恵

2017年8月私は防災士の資格を取りました。女性消防団として10年活動し、遠くない未来に必ず来るであろう南海トラフ大地震に備えて少しでも知識を深めておきたいという思いからでした。そして、地域防災に取り組みたいと考えていた矢先、西日本豪雨災害は起こってしまいました。真備が大きく被災、そして穂井田も被災、親しい友人が何人も家を失う事態に直面。何もできなかったという無念さにさいなまれながらも、ボランティアで看護師の送迎をし、被災者の声を聞きました。これから先の私にできる事は何だろうか、改めて考えさせられ、水に追われる災害の恐ろしさをできるだけ多くの方に伝え、自主的早期避難につなげる活動をしたと考えました。

現在、玉島方面隊女性部では、「西日本豪雨災害の教訓『早く逃げよう』』という約20分の寸劇を各地で上演しています。伝えたいメッセージは唯一つ、災害が起こる前に自ら危険性を調べ、考え、対処法を決めておいてほしいという事です。行政から与えられる避難情報だけでは不十分であるばかりでなく、危険である事さえあるのです。最適な避難は、災害の種類、立地によって異なります。災害避難情報を基に、自分で生き延びる方法を考えられる知識を身につけておくことが大切なのです。自助・共助・公助の中で最も重要なのは、「自助」です。生きていければ、共助ができる、公助に負担をかけない事もできます。災害に強い地域づくりは、人任せの防



地域の福祉相談員

民生委員児童委員 渡邊 賢治

穂井田の民生委員児童委員は5人で4ブロックに分かれ活動しています。その中の1人は、主任児童委員で穂井田全体を担当しております。地域の皆様にはどんなことでも結構ですので、お近くの民生委員にお気軽に相談下さい。さて、昨年7月の西日本豪雨により真備町では、未曾有の大災害となり、50数名の尊い命が失われました。亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。

私達民生委員は、ボランティアセンター開設と同時にボランティアスタッフとして、全国各地から来られるボランティアの方々への受付、各種証明書の発行、現地から帰って来られたボランティアの長靴の洗浄、手洗い消毒などの業務を担当しました。毎日毎日、若者から高齢の方まで何とかしたい、何とかしたげんといけん、との思いで来てくださった方々に感謝の気持ちでいっぱいです。現在は、ボランティアセンターの規模を縮小して、真備いきいきプラザで活動しております。家屋の解体も進み、住宅の新築、リフォームの工事も進んでいますが、まだまだ復興には時間がかかります。私達民生委員も微力ではありますが、一日も早い復興を願う活動ができればと思っております。



2018・7・7西日本豪雨災害に民間レスキュー隊として携わって感じた事

西木 辰弥

矢掛町横谷地区での豪雨災害(裏山の土砂崩れにて住宅の倒壊)、プロの消防レスキュー隊も倒壊の危険有りともせず引き上げてしまい、現場にはパトカーが張り付き立ち入り禁止にするやらで、そこに親友の85才母親の命がわずかに灯る難しい救助でしたが8時間ぶりに助け出す事が出来、20時間後には2回目の土砂崩れにより全壊と成りました。災害後生活の立ち上げ、後片付け等々と経験し善行表彰(矢掛町長より)、災害イベント記念公演など個人的にも成長させて貰いました。

インド創設の父マハトマ・ガンジーの名言では「明日死ぬかのように生きよ！永遠に生きるかのように学べ！」

日本では千日回峰行を二度満行された行者、酒井雄哉住職の名言では「一日一生」と偉大な偉人の方々が説かれます。一生涯懸命に悔いのない一日を過ごさないと、そうすれば大切な家族、友達、社会との関係も上手く行き幸せに過ごせ、ある日突然にやってくる災害にも悔い無く対峙出来ると思えますが、あなたはどうか生きていますか？今一度災害の事を家族で話し合ってくださいね。



《穂井田学区の交通安全》

穂井田学区交通安全対策協議会会長 渡邊 常吉
玉島交通安全協議会穂井田支部長 岡本 弘

1. 高齢運転者と免許制度
更新時における高齢者講習及び認知機能検査、75歳以上となる人は認知機能検査を受け、その結果に基づいた高齢者講習を受けなければなりません。

臨時の認知機能検査。75歳以上の免許保有者が、認知機能が低下した場合に行われやすい一定の違反をした場合には、臨時に認知機能検査を受けなければなりません。

2. 運転者が平素、安全運転をしているか。GPSの付いたドライブレコーダーは、運転姿勢や制限速度を守っているか記録が残っています。パソコンにSDカードを入れて自分の運転を家族の人と一緒にみると、安全運転に大変役に立ちます。

3. 穂井田学区の平成30年1月から12月までの人身事故2件で前年より2件減少。物損事故37件 前年より5件増加
人身事故 3,498件 前年より62件増加
物損事故 3,156件 前年より144件増加
高齢者 第一当事者、玉島管内 65歳~74歳 48件
75歳以上 32件

4. 現在、自分が安全運転をしているか、ヒヤリとしたことはないか、反省をしてみてください。

《交通安全母の会》

森永 寛子

交通事故をなくし、明るい地域の実現のため、母親・家庭の主婦の立場から、交通安全意識の啓発の活動を行っています。

今年も、各地区で小学生の登校の見守りや運動会などの行事への参加、研修会への参加などの活動ができました。地域の皆様のご協力、本当に感謝しております。

今後も地域の行事での呼びかけや登校の見守りなどの活動を通じて、交通事故防止のための啓発をしていきたいと思います。ご理解、ご協力よろしくお願ひします。

《なくならない不法投棄》

玉島地区環境衛生協議会 穂井田支部 井上 淳

穂井田地区は山間部が多く不法投棄の多い地区ですが、美化委員の熱心な活動と地域の皆様のご協力により減少してはいますが、なくならないのが現状です。地域全体で監視していくことが重要であり、皆様のご協力をお願いいたします。

今年も穂井田小プールに、児童が培養したEM菌を投入しました。プール清掃もEM菌のお陰で楽になりました。

7月の真備町水害で9月の一斉清掃は中止となりましたが、増原公園が廃棄物の仮置き場となり、地区の道路に落下した廃棄物を美化委員が熱心に収集し環境維持に貢献してくれました。

住みよい玉島環境健康祭りの「小学生環境川柳標語展」で穂井田小学校六年生の臼井快太郎君が特選になり表彰されました。



《穂井田栄養改善協議会》

岡 和子

毎年5月〜翌年の3月まで玉島支所の2階の料理室で、栄養の先生の教えで色々季節の料理を玉島地区14地区の皆様と共に作り試食して、栄養教室の献立を持って帰り、穂井田憩の家で第4木曜日に実習しています。皆様出かけて参加してみてください。



《心ほっとサポーター》

臼井木綿子・中島 一郎・森永 博子

心ほっとサポーターになり数カ月、まだ何かをしたということがありません。

当事者の方とのコミュニケーションの取り方や障害に関する勉強などの中で、「出来るだろうか」と不安はありましたが先輩方から「顔を覚えてもらえたら」「また来てほしいと言われた」など聞くと、私もそんなふうになってもらえるサポーターになりたいと感じました。これから少しずつでも経験を増やしていけるよう頑張りたいです。

《笑いは元氣のみなもと》

穂井田愛育委員会 森永 博子

「笑って一日を過ごしましょう」を4月に約束をして今年度事業を始めました。

7月に、今までにない災害に見舞われ、いろんな事業を縮小せざるを得ませんでした。笑顔を約束しながら、笑顔になれる日々もありました。ミニ健康展も縮小し、定例会内での健康展となりましたが、皆さんの笑顔が少し見られて「よかった」と思える瞬間でした。日常が当たり前にできることの幸せをかみしめながら、来年度につなげていけたらと思う一年でした。



《倉敷市消防団穂井田分団》

分団長 浅野 保巳

昨年は、西日本豪雨災害で救援(復興)活動に携わった団員一同、目の当たりにして、自然災害の恐ろしさを本当に痛感しました。

我々消防団は、真備地区の防犯パトロール、火災予防の広報活動、山林火災訓練、救急救命講習への参加など地域の安全安心を守るため、日々訓練し頑張りますので皆様のご支援ご協力をお願いします。

《農業委員会より》

農地利用最適化推進委員 藤原 安信

平素より農業委員会活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。さて、早いもので改正農業委員会法の下で2年が過ぎました。穂井田地区も農業委員(小野健児)農地利用最適化推進委員(陶地区・渡辺英一)・(服部地区・藤原安信)計3名で活動しております。主な活動内容は玉島地区協議会と倉敷市農業委員会総会において、農地法の規定による認可申請(権利移転・転用等)の調査、審議、決議又農地相談、農地パトロール等です。来年度も農業委員会活動にご協力の程よろしくお願ひいたします。

《グラウンドゴルフでますます健康に!!》

穂井田第一喜楽会

ゲートボールに代ってグラウンドゴルフが人気です。一見簡単すぎて物足りなく見えますが、どうしてどうしてなかなかの代物です。ウォーキングもよいのですが、楽しさはこちらが上です。青空と澄んだ大気の中で同好の士との1時間はアツという間に過ぎ去ります。用具も用意していますし、やってみようかと思われる方なら老人会の会員である必要はありません。毎日曜日朝9時憩の家でお会いしましょう。



《農業土木委員について》

穂井田4(服部)地区 森永 寛

平成30年7月豪雨により被災された方々につきましては、心よりお見舞い申し上げます。この穂井田地区が自然災害に対して安全安心な地域となるように農業土木委員は地域の皆さんとともに、県や市と協力しながら出来ることから取り組んでいきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。



《楽しいお茶の教室》

7年目を迎えた今年度は、川崎先生にご指導いただきながら、お手前だけでなく、お茶席に合うお菓子選びにも挑戦し、おもてなしの心を大切にお稽古しました。

また、夏の子供茶会では、穂井田小児童に加え、学童保育に一時入所していた真備の子供達も参加し、秋の認定子ども園のお茶会は、旧幼稚園舎を一時利用していただきびの里保育園と合同で開催し、どちらのお茶会も多くの子ども達にお茶を楽しんでいただくことができました。

月2回のお稽古では、訪ねて来られた地域の皆様にも気軽に茶を楽しんでいただいています。どうぞ、お立ち寄りください。



男性料理教室&ふれあい会食会

金関 高司

ふれあい会食会では、今年もバイキング方式でゴーヤ入りピーマンの肉詰め、鶏肉の甘酢ネギ、カジキのカレー焼き、夏野菜の揚げびたし等々10品目を提供。6年生が他の行事で不在でしたが3名の児童が参加してくれました。それぞれの好きなメニューを何度もとりながら会話も弾み、食後の児童の感想や質問で楽しい会食会になりました。



7月の真備町の水書で穂井田小学校の体育館に避難されていた皆様に、当教室もカレーライス、豚の角煮等ささやかですが炊き出しをしました。おかわりされる方もおられ、少しはお役に立てたかなと思っております。

穂井田小の朝は元気な挨拶から

穂井田小学校

「おはようございます」大きな声が校中に響きます。穂井田小の朝は、毎日この声で始まります。くつ箱前と、正門・西門から児童の声がぶつかり合っています。学校中にこだまします。

挨拶や返事は基本です。大人になって社会に出ても同じです。すてきな挨拶や返事は、人間関係の第一歩です。大切にしていきたいものです。



豊かな心・明るい笑顔・みんな仲良く

穂井田認定こども園

現在、11月から就学前までの子ども達、72名が在籍しています。地域の方の温かさや豊かな自然の中、子ども達は、元気いっぱい笑顔いっぱい毎日を送っています。「豊かな心・明るい笑顔・みんな仲良く」を目標に、地域の中の子育て施設として取り組んでいきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



穂井田剣道少年団

会長 高見 栄一

小学生11名、中学生4名からなる穂井田剣道少年団は今年創立47周年を迎える伝統ある剣道団として、活動しております。剣道は「礼に始まり礼に終わる」「一生懸命は楽しい」を合言葉に少人数ではありますが、元気いっぱい日々の稽古に励んでいます。



いつもと違う夏休み

元気ほいだっこクラブ 支援員

7月の豪雨災害で、この夏休みは真備の子どもたち14人と一緒に過ごしました。地域のお茶会や食事会などの行事にも一緒に参加したり、クラブには女優の上野樹里さんやヨーヨー協会の方が慰問に来てくださいました。いつもより大勢の人数でいろいろな遊びができ、楽しく有意義に過ごすことができました。



いつもと違う夏

穂井田小学校PTA 会長 鈴木伴有規

皆様方には平素よりお世話になっております。西日本豪雨災害により、体育館は避難所になり、友達の家も多大な被害を受け、学校が沈んだ雰囲気になったのを子供達もそれとなく感じた夏だったのではないのでしょうか。それでも歯を食いしばって頑張る友達の姿、避難所の方を見て子供達は一回りたくましくなった気がします。

ボランティアは体力・知力・共助力が必至

ボランティアグループ穂井田いずみ会 太田由利子

突然起こる自然災害に対するボランティア活動が、どんなに大切なことか、日ごろから訓練をして備えておかないといけない。私どものいずみ会は、平成六年に設立以来25年経ち、高齢化してしまい活力がありません。今度はお世話になる側になってしまいました。



いきいき元気！まだまだこれから

せせらぎ会 井上美津子

せせらぎ会は、65歳以上の方の楽しい集いの場です。今年4月は良寛荘、11月はせとうち児島ホテルに出かけて昼食会を行いました。瀬戸大橋の見える会場で、次々と運ばれてくる料理を堪能し、みんなで一緒に食事ができる事を喜んでおられました。



地域に支えられて

玉島北中学校 PTA副会長 中島 和彦

平成30年度玉島北中学校の全校生徒623名、その内、穂井田小学校出身の子供達は、1年生10名、2年生5名、3年生7名の合計22名です。子供達は、玉島北中学校の先生方の熱心な指導のもと、又、地域の皆様の御協力・御支援のもと夢・希望に向かって一生懸命努力しております。心より感謝・御礼を申し上げます。玉島北中学校の奉仕作業おやじの会は、子供たちがいきいきとこのびのびと勉強・運動・学校生活が出来るための環境づくりと考えております。このおやじの会への参加も穂井田地区の参加者の方が非常に多く、子供たちを支え・見守り・応援する姿勢は子供たちに大きな勇気と希望を与えていると思っております。今後とも玉島北中学校PTA活動に御支援・御協力を宜しくお願い致します。

地域に定着した恒例の季節行事

穂井田地区青少年を育てる会 会長 白井 幹夫

青少年を育てる会の活動においては、地域の方々、保護者の皆様、小学校の先生方のご協力を頂き感謝しております。ありがとうございます。

毎年恒例の「お飾り作り」には約60名の参加者が集まりました。講師の小野健児さんより丁寧な指導をいただき皆さん立派なお飾りを作り、良い新年を迎える事が出来たと思っております。お飾り作りの後は、餅つき大会で作ったお餅をぜひにいただきまして。

鉛筆削り大会では、大人の部に沢山の保護者・卒業生も参加していただき、小学生を圧倒する気迫で盛り上がりました。19年度も楽しい行事を予定しています。引き続き皆様のご参加とご協力をお願い致します。



お年玉くじの抽選

穂井田郵便局

年賀状と当選番号を照らし合わせて一喜一憂することは、「お年玉付年賀はがき」の醍醐味です。1月20日に1回目の抽選が行われましたが、今年は4月20日にダブルチャンス賞として2回目の抽選が行われます。2回目の抽選では新元号・シリアルナンバー入りのプレミアム感のある「特別なお年玉切手シート」が当たりますので当選発表まで楽しみにお待ちください。

ダブルチャンス賞 特別お年玉切手シート (1万本)

くじ抽せん日 2019年4月20日(土)

2019(平成31)年用年賀はがきのお年玉くじは、郵便局各店にて2019年4月20日(土)に2回目(ダブルチャンス賞)の抽選を行います。

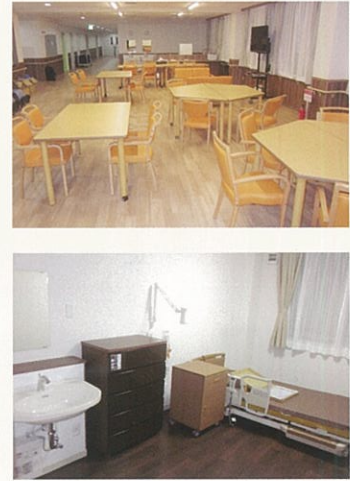
大切に保管してね!

お年玉切手シート

抽選方法: 抽選機にて抽選
抽選日: 2019年4月20日(土) 抽選時間: 15:00~17:00
抽選場所: 郵便局各店

グリーンピア瀬戸内

平成30年11月1日から従来型特養25床増床しました。新しく入所された利用者様・ご家族様・職員でユニットの名前を「かがやき」と決めました。利用者様が「かがやき」ある生活が出来るようにと思い、決めました。これからも、利用者様を中心とした生活のお手伝い出来るように職員一同頑張っていきたいと思っております。



つながりを大切に

社会福祉法人 三穂の園 障害者支援施設 住倉学園 川上 裕右

昨年7月の記録的大雨にて真備町をはじめとする複数の市町村が水害により被害を受けました。この災害を通じて痛感したことは、やはり人と人とのつながり、絆の重さを改めて深く考えさせられる事となりました。これまで障がい者支援を通じて福祉貢献に邁進してまいりました。今後も一生懸命、生活している全ての方々に優しく手を差し伸べる施設であると同時に、つながることの大切さを忘れずに一層努力していきたいと思います。

ファジアーノ岡山「倉敷夢チケット」デザイン採用!!

穂井田小学校 5年 中塚 悠稀

平成29年、小学校より配布された「倉敷夢チケット」の募集用紙を見て初めて応募しました。入賞したもののチケットのデザインには採用されませんでした。山陽新聞には、チケットに採用された子と倉敷市長、大きなチケットのパネルが一緒になって掲載されていました。その記事を見て、「来年こそは」と記事を切り抜き、学習機のマットに挟んでいました。今年度の募集用紙をもらい宿題を終わらせると、毎日少しずつ丁寧に書きました。ファジール、桃太郎、岡山城と1週間くらいで書き上げました。「今年こそはチケットになって、倉敷市長に会う」という目標に向かって頑張りました。



地域に助けられ

ひだまりカフェ 森永 博子・梶谷千賀子

ひだまりカフェを立ち上げて1年がたちました。「誰もが、来やすい、暖かいほっこりできる場所」になるよう輪を広げてきました。生まれたばかりの赤ちゃんから、学校の兄ちゃん・お姉ちゃんまで横のつながり、縦のつながり、また3世代のつながり等、地域の皆さんのお手伝いを頂きながら「穂井田に住んでよかった」と思える場所になればと一歩踏み出したばかりの会です。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。



穂井田をどのような地域にしたいですか。考えて……!

玉島陶・服部地域 まちづくり協議会

「穂井田ええとこ暮らし」してみませんか……をキャッチフレーズに、穂井田地域に少しでも人口が増え、この地域大好き人間を増やし、一人ひとりが生きがいを感じ、笑顔で暮らせる、そんな地域を目指しています。31年度は、小学生の人数が49名から、42名になるようです。20年前にこんな児童数になるとは、誰も思っていなかったと思います。住民の一人おひとり、課題を共有してそれを中心に捉えて、その解決のために当事者として、何が出来るのかということをお話していただきたいと思います。「市民活動は借物共創」みんなで互いに行うことを借りあって地域で一緒に助け合い、地域を一緒に創っていく。「助けになりたい」も大事。そして「助けてほしい」も大事。問題に共感でき、役割(出番)がわかれば、人は動く。31年度は、皆様が穂井田をどのような地域にしたいのか描く年です。どうかご参加をよろしくお願いいたします。



地区年間行事予定

- 2019年
 - 4月 わらび狩り(青少年を育てる会)〈14日〉 各種団体 総会
 - 5月 地区社協 総会 運動会(小学校)〈25日〉
 - 6月 体育会(玉島北中学校)〈1日〉 鉛筆削り大会(青少年を育てる会)〈22日〉
 - 7月 廃品回収(小学校)〈6日〉
 - 8月 夏祭り(地区社協) 奉仕作業(小学校)
 - 9月
 - 10月 廃品回収(小学校)〈12日〉 いきいきフェスタ(地区社協) 運動会(認定こども園) 教育講演会(小学校・青少年を育てる会)〈26日〉
 - 11月 文化祭(地区社協) 敬老会(地区社協)〈23日〉 学芸会(小学校)〈30日〉
 - 12月 もちつき大会(青少年を育てる会)〈14日〉 お飾り作り(青少年を育てる会)〈21日〉
- 2020年
 - 1月 穂井田小祭り・感謝の会(小学校)
 - 2月 廃品回収(小学校)〈8日〉
 - 3月 広報誌発行(地区社協)

平成30年度諸事業費一覧

2019年1月31日現在(単位:円)

項目	金額	備考
夏祭り	0	
穂井田いきいきフェスタ	0	
文化祭	0	
敬老会	0	
男性料理&ふれあい会食会	64,256	講師料、材料費他
地域福祉事業	110,000	栄養改善、喜楽会、愛育委員会他
友愛訪問	35,000	いずみ会の訪問活動支援
防犯防災関連事業	10,000	交対協等・啓発活動補助
教養講座「楽しいお茶の教室」	121,712	材料費、講師料等
会議費	20,184	総会・理事会・役員会 飲物代他
事務諸費	192,259	通信・印刷等
施設維持管理費	30,000	憩の家庭木剪定等
慶弔・交際費	60,000	災害見舞・百歳祝
備品費	30,379	プリンター他
合計	673,790	

編集後記

7月の西日本豪雨災害の影響を受け、地域全体で考えさせられた一年だったように思います。

来年度はみんなで何事も盛り上げて地域全体で元氣を取り戻しましょう。

◎香典返し
井上 厚様